

[事例・資料]

佐賀県におけるインフルエンザの流行 (2012/13シーズン)

ウイルス課 安藤 克幸 野田 日登美 大串 和弘
角 典子

○佐賀県感染症発生動向調査事業におけるインフルエンザの発生状況調査 (2012/13 シーズン) および集団発生状況調査の概要は以下のとおりであった。

○ウイルス検出・分離

2012年9月から2013年8月まで、県内定点医療機関(インフルエンザ・小児科・基幹病原体定点)におけるインフルエンザ様疾患患者(以下、散発事例)50名の鼻・咽頭ぬぐい液と県内の保健福祉事務所管内におけるインフルエンザ集団発生事例(以下、集団事例)5事例27名のうがい液など、計77検体について、インフルエンザウイルスの検出・分離を行った。

○ウイルス分離

インフルエンザウイルス分離にはMDCK細胞を用い、分離株の同定は国立感染症研究所から分与された診断用試薬キット、モルモット赤血球を用いたHI試験により行った。

○ウイルス遺伝子検出法 (RT-PCR 法等)

- ・鼻咽頭ぬぐい液からのインフルエンザ RNA 抽出法は、濃縮キットを使用した。
- ・うがい液からのインフルエンザ RNA 抽出法は、10ml を Amicon Ultra-15 で濃縮し容量を 0.5ml 以下にした後、濃縮キットを使用して抽出した。
- ・インフルエンザウイルスの検出は、国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに従ってリアルタイム PCR 法およびコンベンショナル RT-PCR 法を実施した。

○結果

1) インフルエンザ患者の発生状況

①散発事例

佐賀県感染症情報センターによる2012/13シーズンのインフルエンザ患者報告数は図1のとおり、例年と同様の推移であった。

②集団事例 (図1、表1)

佐賀県インフルエンザ学級等閉鎖情報による2012/13シーズンの集団発生は、表1のとおりであった。

[事例・資料]

図1 2012/13シーズンにおけるインフルエンザ患者発生状況

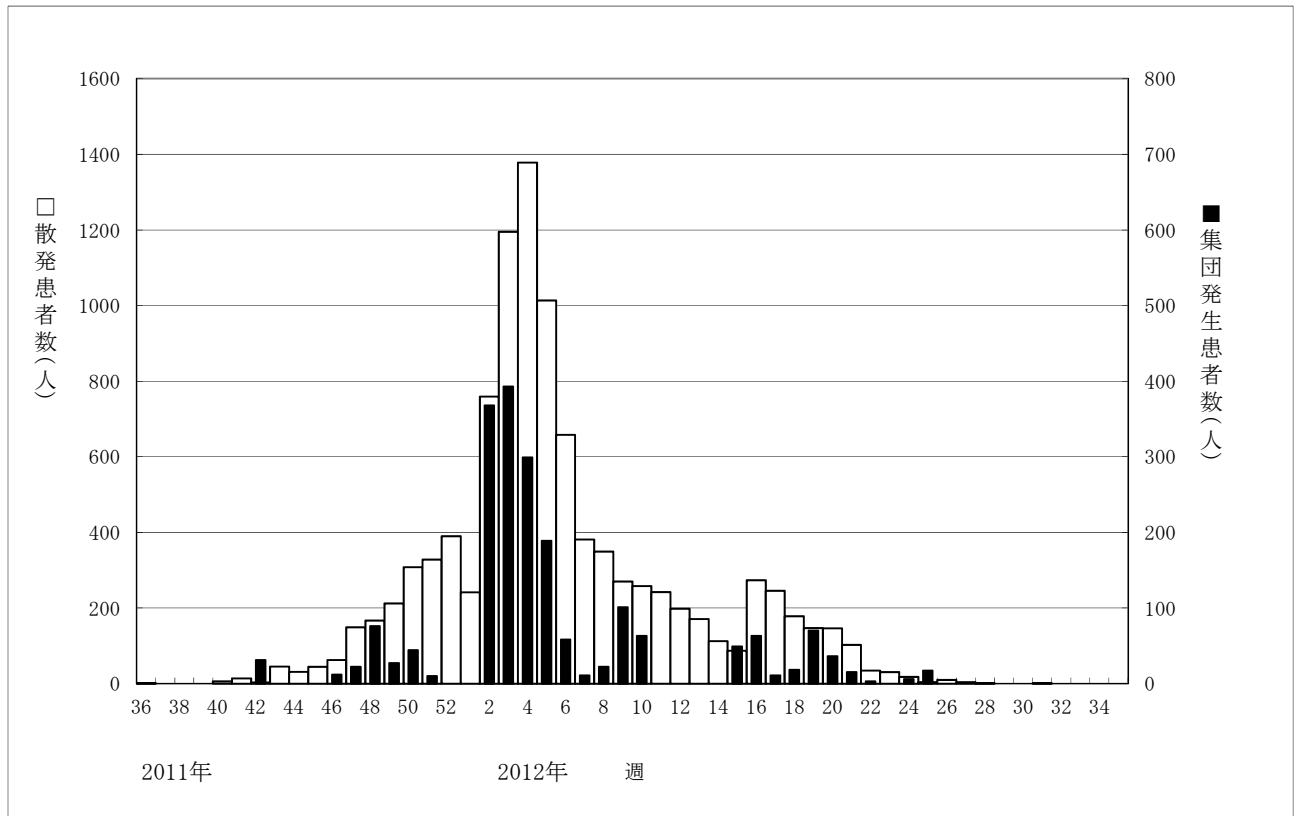


表1 インフルエンザ集団発生施設別発生状況

施設	施設数	患者数	措置		
			休校	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園・保育園	32	368	6	0	26
小学校	74	790	0	22	52
中学校	37	418	0	5	32
高等学校	7	102	0	1	6
短期・大学、他	0	0	0	0	0
計	150	1678	6	28	116

[事例・資料]

2) ウイルス検出状況

① 散発事例における検出状況 (図2)

図2 2012/13シーズンにおけるインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザ 2012/13シーズン推移表 (佐賀県)	2012 H24年 9月		10月							11月					12月		
	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49			
報告数	0	0	0	0	6	14	3	45	31	44	62	149	167	212			
定点当たり患者発生数 (人/定点)	0	0	0	0	0.15	0.36	0.08	1.18	0.79	1.13	1.59	3.82	4.28	5.58			
提出検体数	3		2		1					1	1		2	2			
検出数	2		0		1					1	0		2	2			
AH1pdm09																	
AH3亜型	2				1					1			2	2			
B型																	

		2013 H25年 1月		2月							3月					4月				
50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
308	328	390	241	759	1195	1378	1013	658	381	349	270	258	242	198	171	112	87	273	245	
8.11	8.63	10.26	6.34	19.97	31.45	36.26	26.66	17.32	10.03	9.18	7.11	6.62	6.21	5.08	4.38	2.87	2.23	7	6.28	
8	5	6		1	1		2	2		2	1	2					1	3	2	
8	4	5		1	1		2	0		2	1	2					1	3	2	
8	4	5		1			2			1		1					1	1	1	
					1					1	1	1						2	1	

5月			6月					7月					8月				
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
178	147	146	102	33	30	18	4	10	4	1	0	0	1	0	0	0	0
4.56	3.77	3.74	2.62	0.85	0.77	0.46	0.1	0.26	0.1	0.03	0	0	0.03	0	0	0	0
2																	
2																	
2																	

[事例・資料]

②集団事例における検出状況 (表2)

表2 2012/13シーズンインフルエンザ集団発生事例におけるウイルス検出状況

事例番号		管轄保健 福祉事務所	発生地、施設名	検出・分離数	検体数	型
1	2012.10.22 (4)	杵藤	武雄市、小学校	2	5	AH3亜型
2	2012.11.22 (4)	唐津	唐津市市、小学校	0	3	
3	2012.12.17 (3)	鳥栖	鳥栖市、小学校	6	9	AH3亜型
4	2012.12.18 (3)	佐賀中部	佐賀市、小学校	3	3	AH3亜型
5	2013.1.16 (3)	伊万里	東松浦郡、中学校	2	7	AH3亜型

○考察

2012/13 シーズンにおけるインフルエンザの流行は、2月中旬をピークとする従来型の冬季流行パターンであったが、今後ともインフルエンザウイルスの大流行と各亜型による変異株の出現に備え、ウイルス病原体の迅速な検出と分離および遺伝子学的な解析を継続的に実施していくことが重要であると考えられる。